



発行所
〒924-8544 石川県白山市三浦町500の1
石川県立翠星高等学校内
六星同窓会
印刷所
印刷
能登印刷

地球温暖化を考える

六星同窓会
会長

大藏捷直



同窓会会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申

し上げます。また、日ごろより母校の発展並びに同窓会活動に対しまして

格別のご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、今日的な課題の一つに、地球温暖化問題があります。大気中に含まれる二酸化炭素やメタンなどの温室効果ガスには、海や陸などの地球の表面から地球の外に向かう熱を大気に蓄積し、再び地球の表面に戻す温室効果がある。もし、温室効果がなければ地球の表面温度が氷点下一九℃と見積もられ、温室効果のため世界の平均気温はおよそ一四℃となっている。しかし、大気中の温室効果ガスが増えると温室効果が強まり、地表の気温が高くなる。

十八世紀半ばの産業革命以降、人間活動による化石燃料の使用や森林の減少などにより、大気中の温室効果ガスの濃度が急速に増加し、温室効果が強まり地球温暖化が起きている。世界の平均気温は、十九世紀後半以降一〇〇年当たり〇.七℃上昇してお

り、日本の気温上昇は世界より早い速度で上昇し、二〇〇年当たり二.一九℃上昇した。

地球規模の気候変化の予測では、二十一世紀末の地球の平均気温は、二十世紀末に比べ、温室効果ガスの大幅な削減をした場合、二.一〜二.七℃、非常に高い温室効果ガス排出量が続いた場合は二.六〜四.八℃上昇すると見込まれている。

このような地球温暖化が進むと、北極海の海水面積の縮小、海面の上昇による領土の消失、豪雨・洪水・干ばつなどの増加、台風・強風・大化、生態系への影響、砂漠化の進行、水不足の発生、熱帯性感染症の発生増加、穀物生産の減収や作物の品質低下などが起きます。

地球温暖化を抜本的に緩和するためには、温室効果ガスの排出量の削減やエネルギー分野などの技術の開発、森林などの炭素吸収源の保護・増大などの対策を国際的に取り組むことが

不可欠である。私たちは、温暖化を防止するためには身近にできることから始めることが大切である。例えば、カーテンによる太陽光の調節やケルビス、冷房・暖房の温度を控える、シャワーの流しっぱなしをしないなどにより、燃料や電力の消費を抑える。ポットやジャーの保温を控える、電化製品の主電源をこまめに切る、使わない時はコンセントを抜くなど節電に心がける。自家用車の使用を控えて、公共交通機関や自転車を利用したり、自家用車を使うときもアイドリングストップなどのエコドライブを実践するよう心がけることである。

最後になりますが、この三月、卒業された皆さんの六星同窓会への入会心から歓迎するとともに、母校翠星高校の発展と同窓会会員の皆様のますますのご健勝とご活躍お祈り申し上げます。

平成から令和へ 翠星高校の躍進

校長

鷺澤勝



同窓会員の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年四月、本校に校長として着任しました。本校での勤務は、昭和六十年の松任農業時代の初任（臨任講師）からの一八年間、平成二十七年から教頭として二年間ありましたので、立場を変えて今回が三回目となります。以前勤務していたときにも増して、生徒たちの頑張り、活躍を見るにつけ、大変嬉しく思っております。

平成から令和に改元された本年度も、本校生徒が様々な場面で活躍してくれました。特に今年度は、同窓会員のほとんどの皆様も本校在学中にされていた「農業クラブ」活動において、大きな成果がありました。NHK連続テレビ小説「なつぞら」で、主人公なつが、十勝農業高校の友人たちと一緒にFFJの歌を歌う場面が全国のお茶の間に流れ、初め

皆様方ご承知のとおり、本校は現在、総合グリーン科学科（農業科）

各学年四クラスの県内唯一の農業高校であります。生徒たちは、授業や部活動など様々な活動に積極的に取り組み、元気に学校生活を送っております。

てFFJの歌を聞いた人たちの間では「農業クラブって何?」「あの歌は何?」となったことは、想像に難くありません。その後、NHK札幌放送局が「みんなのでつくる!」「FFJの歌」として視聴者投稿の歌唱動画をつなぎ合わせたミュージックビデオを制作し、同局ウェブサイトや動画サイトで公開され、農業高校同窓生の皆様の他には知る人ぞ知る存在だった日本学校農業クラブ連盟・FFJの歌が広く全国に知れ渡った年でもありました。

十月に山形県を中心に開催された第七十回日本学校農業クラブ全国大会東北大会プロジェクト発表会Ⅲ類ヒューマンサービス分野において、食品科学研究会が「全国6次産業化計画」各地域に合わせた「廃棄果皮Oシステム」で最優秀賞・文部科学大臣賞を受賞しました。一昨年のⅡ類開発・保全・創造での最優秀賞・文部科学大臣賞に続く、同じ食品科学研究会での二回目の日本一となりました。私自身、大会式典会場で最優秀賞の成績発表を聞いた時

には思わずガッツポーズをとっていました。夏の北信越ブロック大会・全国代表決定の時から、審査員の先生方をはじめ多くの方から「また日本一はいじめ多くなるか」と言われ、非常に大きな期待とプレッシャーがかかった中での最優秀賞受賞・日本一になった瞬間でした。その後の全国農業高校校長会でも全国の校長先生方から、「すごいですね」とお褒めの言葉を数多くいただき、中には「自分の学校の生徒にぜひ聞かせたい、どうやったらあんな風になれるんですか」と言われ、実際にその後、「大会式典での優秀者発表のビデオを全校生徒に見せました。生徒は皆、圧倒されてポカンとしていました。」と報告してくださった校長先生もおられました。さらに、この食品科学研究会の取り組みは、農林水産省の「第六回ディスカバー農山漁村の宝」(全国五三二団体)に選定され総理大臣官邸での選定証授与式・交流会に出席、環境省の「第五回全国ユース環境活動発表大会」中部地方大会最優秀賞受賞で全

国大会出場、農林水産省の「第七回食品産業もつたない大賞」農林水産大臣賞受賞など、多くの全国的な栄誉ある賞を受賞しています。まさに、平成の時代の総決算、令和への新しい幕開けにふさわしい成果を挙げてくれました。校長として、多くの方々から「翠星高校は本当にすごいですね、素晴らしいですね」とのお褒めの言葉をいただいた年でもありました。

これら翠星高校の活躍は、ひとえに頑張り続けてくれた生徒はもとより、指導してくださった先生方、そして本校教育活動を様々な形でご支援くださる同窓会の皆様方のおかげだと本当に感謝しております。令和になつたこれからも、皆様に母校の躍進をお伝えできるよう生徒ともども頑張つてまいりますので、引き続き本校教育活動へのご理解、ご支援をお願い申し上げます。同窓会員の皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。



食品科学研究会HP
QRコード



全国6次産業化計画！ 各地域に合わせて 「廃棄果皮0」システム

- 石川県立翠星高等学校総合グリーン科学科
食品科学コース食品科学研究会
- 3年 太田 風音(プロジェクトリーダー・発表者)
 - 1年 山田 真穂(発表者)
 - 3年 福村 月菜(補助者)
 - 1年 大津 駿(補助者)
 - 1年 山下慎二郎(補助者)
 - 1年 大西 花(補助者)
 - 3年 木戸 彩耶
 - 2年 小野井菜々
 - 2年 木村そら乃
 - 1年 丹羽 咲絵
 - 1年 明圓 莉子

第70回日本学校農業クラブ全国大会
令和元年度 南東北大会プロジェクト発表会
分野Ⅱ類「ヒューマンサービス」最優秀賞(文部科学大臣賞)

食品科学研究会 「二度目の全国最優秀賞」

顧問 教諭 安川 三和

平成十一年松任農業高校園芸科学科卒業

食品科学研究会は、第70回日本学校農業クラブ全国大会(南東北大会)プロジェクト発表会Ⅱ類において二度目の最優秀賞・文部科学大臣賞を受賞しました。「プロジェクト発表会」とは農業クラブの競技のひとつで、研究内容・活動記録簿・発表(10分間)・質疑応答の得点で競い合います。平成二十九年年度にはⅡ類「開発・保全創造」で石川県内四三年ぶりに最優秀(文部科学大臣賞)を受賞し、多くの方に本校生徒の頑張りを認めて頂きました。昨年は二連覇ならず最優秀に終わったため、生徒達の「今年こそ最優秀！」という想いは非常に強く、生徒と一緒に日々の活動や発表練習、記録簿作成に取り組みました。コツコツと一年間積み上げた努力が実った結果です。

今年度の食品科学研究会の活動は「活動の場」を全国に広げ、従来の6次産業化支援という農業分野に留まらず環境や国連のSDGs【持続可能な開発目標】にも寄与する研究となりました。生産者の声に真摯に耳を傾けた結果、時流に沿った活動となったのでしよう。また、活動も前任者を含めて九年目を迎え、実際に生産者や企業が私達の提案した商品販売するなど、実社会での影響が具体的に広がりました。そこで今年度は農業クラブ以外の外部コンテストに多数応募したところ、結果は「ディスカバー農山漁村宝 第六回選定」で全国選定、「第七回食品産物もったいない大賞」で農林水産大臣賞を頂くなど好評を博し、これまでの活動に私も生徒も自信を持つことができました。二月、三月に複数のコンテストの表彰式や最終審査会を予定しています。結果等に関しましては研究会

HPをご覧ください。
生徒達は地域、さらには全国でも多くの発表や意見交換の機会を頂き、自信と実践力を身に付けています。今後も生産者に寄り添った農業高校生にしかない活動を展開していきます。本校に関わる皆様の変わらぬご支援・ご鞭撻をおねがい致します。



活動記録簿

令和元年度 食品科学研究会表彰

- ・第7回食品産物もったいない大賞
農林水産大臣賞
- ・ディスカバー農山漁村の宝(第6回選定)コミュニティ部門 優良事例認定
- ・第5回全国ユース環境活動発表大会
- ・中部大会 最優秀賞(全国大会2月)
- ・第9回毎日地球未来賞 次世代応援賞
- ・第8回イオンECO-1グランプリ 奨励賞
- ・第24回北國あすなる賞 受賞
- ・社会教育表彰 白山市長賞 優秀団体



ディスカバー農山漁村(むら)の宝
【第6回選定】コミュニティ部門
全国選定認定式
(2019年12月3日総理大臣官邸にて)

六星賞を受賞して

食品科学研究会 三年 太田 風音

今回この「六星賞」をいただくことができ、とてもうれしく思います。三年間私が農業クラブの活動に打ち込めたのは、研究会の仲間や先生方、そして地域の方々など様々な方のご協力のおかげです。本当にありがとうございます。

私は高校生活三年間をこのプロジェクト活動に捧げ、日々活動を行ってきました。入学当初は「農業」というものあまり関心がなく、「農業クラブ」や「プロジェクト活動」についても、自分には関係のないことだと考えていました。ですが、食品科学研究会に入部しその考えは変わりました。入部してすぐ、プロジェクト活動について説明を受け、プロジェクトメンバーに選ばれました。何もわからないまま、ただ必死に先輩についていった初めての全国大会では、県内では四三年ぶりの最優秀賞を獲得しました。表彰式で堂々と登壇するプロジェクトリーダーの姿は本当にかっこよく、私のがれとなりました。その翌年、先輩が卒業し私がプロジェクトリーダーを務めることになりました。初めてリーダーを務め、仕事量の多さやチームをまとめることの難しさを知りました。大会本番はミスなく発表を終えることができたのですが、前日リハールで「はい！」と全員で返事をするはずが練習通り声が出ず、チームの士気を高めきれなかった失敗がありました。結果は最優秀賞に終わり、悔しかったです。

三年生で最後の年である今年には、「二度目の最優秀賞」とり、先輩のように全国大会の表彰台に立つ」という目標を胸に、一年間活動に励みました。日々の研究活動では、三六都府県に電話をかけ、研究の普及を行ったりと今までになく大変でした。さらに今年是一年生四人を含めた全く新しいチームでの発表だったので、初めて参加する一年生にとってはかなり厳しいことも言っ



白山の日の出
～そば巻の松任梨のデニッシュ～

思います。ですが、最後までついてきてくれて、本番は返事から退場まで完璧な発表になりました。昨年とは違い、リーダーとして最後までチームを引っ張ることができ、結果、最優秀賞を獲得することができました。先輩の力ではなく自分たちの力で最優秀賞を獲得し、堂々と表彰台に立つことができました。本当にうれしく、努力は必ず報われるということを強く実感しました。

三年間の活動を通し、たくさんの方の学び力を付けることができました。卒業後は、この三年間を活かし、地域社会で活躍できるような人材になれるよう頑張ります。

第14回全国高校生パンコンテスト パン祖のパン祭大賞

食品科学コース 三年 南川 直輝

私は一年生の時から食品科学コースP A N-B Uに所属しパン製造を学んできました。今年念願の「第十四回全国高校生パンコンテスト」に出場し、四部門のグランプリである「パン祖のパン祭大賞」を獲得できました。大賞が発表された時は心臓が飛び出るくらい嬉しかったです。パン製造練習、発表練習、質疑応答練習を最後までめげずに頑張り抜いて本当に良かったと感じています。本番当日の実技試験は、慣れない環境で戸惑いましたがトラブルにも臨機応変に対応でき、練習の成果を出し切ることができました。プレゼンテーションも緊張しましたが大きなミスもなく楽しんでできました。先生方には丁寧かつ厳しく指導して頂き本当に感謝しています。春からは専門学校でパン製造技術を磨き、一流のパン職人を目指します！

野球部で学んだ事

昭和五十六年度卒 造園科 羽場 敏浩

私が石川県立松任農業高等学校を卒業したのは昭和五十七年春である。早いもので三七年の月日になる。五十四年入学と同時に野球部に入部。この三年間で多くの事を学ばせてもらった。始めに教わったのは先生方、先輩への振る舞いや身だしなみ。廊下ですれ違う時大きな声で挨拶、そして言葉遣いである。目を見て敬語で話をする。今では当たり前の事のようにだが当時、経験のない私には衝撃的だった。高校二年になり後輩に教える立場に、三年になると更に責任感も出てくる。上級生としてチームをまとめなくては行かない。人それぞれ性格や育った環境もちがうので伝える事の難しさを痛感した。自分が見本となり率先し努力しないと行けない。社会に出て最初に意識したのは大人の方々の言葉遣い。敬語で話し挨拶をしつかり行なう事をテーマとした。野球部で学んだ教訓が私の原点である。家業を継ぎながら十八歳で空手道場入門、黒帯を取得し三十歳で道場を開設。空手の指導者になり二十六年になる。道場生に日々伝えている事は挨拶、返事、そして親孝行である。何事も一生懸命、真面目に取り組めば自然と周りの人が応援してくれる。松任農業高校で出会った先生、仲間は私の心の財産支えである。

【空手歴 二十八年 六段】

第45回全日本空手道選手権大会壮年 優勝(二〇三年)



第2回総極真世界空手道選手権大会に
2020年4月日本代表選手に選出

「白山の恵み」に育まれて

平成十年度卒 環境工学科 池元 豪

同窓会皆様の日頃の御厚情に御礼申し上げます。

私は卒業後に、建築の仕事より深く学ぶ為に県外へ進み就職し、多くの人と出会う中で縁あって飲食業界に参入し、十数年学びを経て、結婚を期に生まれ育った地元へ帰省しました。現在は米倉の建造物をリノベーションし、「UDON&DINING」タマリバかんすけ」を営営しております。二〇二〇年に開業し今年でちょうど十周年！

【当店のこだわり】

地産物を沢山取り入れたメニューです。恵に携わった生産者や業者の方々と繋がることで、今日の豊富な当店のメニューが確立します。店舗に併設されたメンツル製麺所で白山の麓で作られた地麦で使った「白山饅頭」にこだわり、米や具材となる食材は勿論、出汁や調味料などもほぼ地産物を使い、一〇〇%地の味を追求してきた。地産地消推奨のうどん屋です。

【たかがうどん屋、されどうどん屋】

一杯にかける思いは誰にも負けない自信があります。幅広い世代に好まれるこだわりのうどんと地域の方々に必要とされるようサービスを追求しコツコツとお店を営んできました。お陰様で今年で十周年を迎える当店はさらなる挑戦も考えてます。

卒業してから二十数年の時を経て今またこうして食を通して母校に携われることを嬉しく思い、当時将来を導いてくださった本校の先生方や、故郷に出来る限りの感謝で返したい想いです。

最後になりましたが、翠星高校並びに六星同窓会の益々の発展に感謝共に祈り申し上げます。



ぶどう栽培を通じて

平成十五年度卒 総合グリーン科学科 多井 雅宣

翠星高校・総合グリーン科学科を平成十六年に卒業させていただきました多井雅宣と申します。高校卒業後は東京農業大学・短期大学部へ進学し、現在は小松市で両親の営んでいた「ぶどう農園」を引き継ぎ、日々精進いたしております。

農業をはじめ十年以上経過し、近年の環境の変化に悪戦苦闘しながらも「農業を楽しくカッコ良く」を理念に、最近ではルビロマンをふくむ約三〇種類ほどのぶどうを生産・販売いたしております。中でもシャインマスカットは大変人気が高く、年々生産量を増やして、十数年前は種なしぶどうが求められ、今では種なしに加え皮ごと食べる品種が主流になりつつあり、時代の変化を感じています。

また最近話題のルビロマンも、四年ほど前から父に代わり本格的に栽培に取り組んでいます。また平成二十九年からルビロマン研究会・副会長に就任し、ルビロマンの更なる発展のためにテレビ出演などPRに微力ながらつとめさせていただいております。今後はこのような活動を通じてルビロマンだけでなく、ぶどう栽培を通して農業全体が魅力ある産業だということを伝えていけたらなと思っております。

最後になりますが、六星同窓会の益々の発展と御多幸を心よりご祈念申し上げます。



支部だより

関東支部

昭和三十二年度卒

小林 好晴

令和元年度の支部総会を十一月九日(土)に、本校から鷺澤校長先生と森先生を、来賓として佐戸白山市東京事務所長をお迎えして、主婦会館プラザエフで開催しました。

最初に本年度の事業報告等及び次年度の事業計画等並びに役職名の変更による規約改正が承認されました。次に役員の改選では全ての役員が再任され、新年度が無事にスタートしました。

関東支部は年初の「気軽に一杯の会」と春・秋の「歩く会」を基本に、石川県や石川県人会が企画に企画している「いしかわ県人祭」や「いしかわ百万石の集い」に参加して親睦を図っています。

会員の高齢化が進んでいます。皆で知恵を出し合って関東支部の運営に努めて参ります。

関西支部

昭和二十九年年度卒

北本 幸雄

令和元年度六星同窓会関西支部



総会を、十一月十六日例年通り梅田ホテルグランヴィア大阪内「なにわ食彩しずく」に於いて、母校より鷺澤校長先生、丹保先生お二人の御臨席をいただき開催をしました。松永副部長の司会進行により本年度の事業、決算報告及び次年度の事業計画等の議案について審議、質疑応答の上承認を得て可決しました。母校の先生方、PTA、学生達の活動、そして地域の話題で盛り上がり楽しい時を過ごす事が出来ました。当支部も負けずに頑張りたいとの思いが募って来ます。年号も新しく変わり、以前の例会で決定した親睦の為に小旅行を、十月十六〜十七日広島県瀬田の浦へ行って参りました。観光馴れない素朴な所です。これといった施設もなく、坂本竜馬の「いろは丸」事件と古い町台位がある程度です。ただ日々の喧騒とストレスから逃れリフレッシュするには絶好の町ではあります。新しい気持ちで当会の発展を強く持つて進んで行く思いです。



東海支部

昭和三十七年度卒

猿渡 孝之(旧姓加成)

第十八回の東海支部の総会を平成三十一年五月二十五日に、名古屋駅前前のホテルサンルート名古屋で会員二名、来賓三名にて開催し、母校の鷺澤先生、高木先生より学園の現状をつぶさに報告していただき、学童たちの活発な行動が目につかび青春時代を思い出させてくれました。又県人会会長の上野氏より三十一年度県人会の事業計画の報告、是非皆様の御出席を心まちしておりますとのこと。来賓の祝辞の後、事務局より昨年度の決算、新年度の計画、監査報告を満場一致で承認可決しました。先輩の林さまより母校発展と皆様の健康を祈念して乾杯し、懇親会に入り、皆様の日ごろの話題で盛り上がり、特にリニア、名古屋城の天守閣の建替の話、東京〜名古屋間がリニアで四〇分で行ける、これからの我々の生活又子供たちの生活を考えますとそれぞれが思いが交又し、これからも元気で会に出席する事を約束し散会しました。

屋敷前のホテルサンルート名古屋で会員二名、来賓三名にて開催し、母校の鷺澤先生、高木先生より学園の現状をつぶさに報告していただき、学童たちの活発な行動が目につかび青春時代を思い出させてくれました。又県人会会長の上野氏より三十一年度県人会の事業計画の報告、是非皆様の御出席を心まちしておりますとのこと。来賓の祝辞の後、事務局より昨年度の決算、新年度の計画、監査報告を満場一致で承認可決しました。先輩の林さまより母校発展と皆様の健康を祈念して乾杯し、懇親会に入り、皆様の日ごろの話題で盛り上がり、特にリニア、名古屋城の天守閣の建替の話、東京〜名古屋間がリニアで四〇分で行ける、これからの我々の生活又子供たちの生活を考えますとそれぞれが思いが交又し、これからも元気で会に出席する事を約束し散会しました。



金沢支部

昭和五十年農業科卒

若林 英世

平成三十一年度の定期総会は、元号が「令和」に変わった七月六日、ANAホリデー・イン金沢スカイに於いて三六名が参加して開催されました。母校からは、鷺澤校長先生、谷教頭先生、寺瀬教諭、高木講師にご臨席を賜りました。

日、ANAホリデー・イン金沢スカイに於いて三六名が参加して開催されました。母校からは、鷺澤校長先生、谷教頭先生、寺瀬教諭、高木講師にご臨席を賜りました。総会は、大蔵支部長の挨拶で始まり、鷺澤校長先生から母校の現況報告などを賜りました。その後、会務報告・会計報告・会計監査報告が行われ、慎重に審議され満場一致で承認されました。講演会では、昭和四十年農林科卒業の門村和永様より「金沢市の森林再生をめざして」というテーマで講演をいただき、現在の問題点や今後の課題を分かり易く解説頂きました。イノシシや熊の被害は、テレビ等で報道されることもあります。シカの被害がそんなに侵襲しているとは全く知らず驚きました。懇親会では、平成の卒業生に挨拶してもらい、今後の六星同窓会を盛り上げていく戦力として頑張ってもらえるようお願いしました。

事務局だより

《本部》

【会計監査】

六月一日(土) 翠星高校視聴覚室

【理事会・総会】

六月八日(土) グランドホテル白山

【支部総会】

【金沢支部総会】

七月六日(土)

ANAホリデー・イン金沢スカイ

鷺澤校長 谷教頭 寺瀬教諭

高木講師 出席

【関東支部総会】

十一月九日(土) 主婦会館プラザエフ

鷺澤校長 森主査 出席

【関西支部総会】

十一月十六日(土) 梅田ホテルグランヴィア大阪

鷺澤校長 丹保講師 出席

【東海支部総会】

五月二十五日(土) ホテルサンルート名古屋

鷺澤校長 高木講師 出席



参加者の高齢化は否めませんが、少しでも若い世代に参加してもらって、益々の発展と会員各位のご健勝を祈念し散会しました。